

# 早稲田大学日本語教育学会 2022年 春季大会プログラム

<p>【開催日時】 2022年3月19日(土) 13:00~16:10</p> <p>【会場】 Zoom (URLは3月16日(水)に参加申込者にメールにて送付)</p> <p>【参加費】 無料(会員による事前申し込み制)</p> <p>参加申込期間: 2022年2月18日(金) 9:00~3月6日(日) 23:55</p> <p>※非会員の方は、必ず申込前に学会HP &lt;<a href="http://gsjal.jp/wnkg/invitation.html">http://gsjal.jp/wnkg/invitation.html</a>&gt; で会員資格を確認し、入会手続きを終えてから申し込んでください。</p> <p>※予稿集は3月14日(月)以降、学会ホームページからダウンロード可能です。ダウンロード、または印刷の上、ご参加ください。</p>
---

## 13:00~13:10 【開会式】

## 13:20~13:50 【ポスター発表】

発表題目		
<p>①日本語教師の実践コミュニティの変容 —対話に対する姿勢の変容から—</p> <p>伊藤茉莉奈 (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)</p>	<p>②案内・規制のためのサインのわかりやすい 表現とは —作り手としての市民への調査から—</p> <p>高橋英一 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)</p>	<p>③学習リソースとしての日本語で語られた ストーリー —初級の成人学習者の事例から—</p> <p>本間淳子 (東洋大学人間科学総合研究所)</p>

## 14:00~14:30 【口頭発表Ⅰ】

発表題目		
<p>④大学院留学生の研究室コミュニティへの参 加プロセスと「ことば」の学び —自己エスノグラフィーを通して—</p> <p>邊希眞 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)</p>	<p>⑤ソーシャルネットワーキングサービスを用 いた日本語教師間の学び合いコミュニティ の可能性と評価 —Facebook を利用した実践から—</p> <p>李紀源 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了生)</p>	<p>⑥慰めのコミュニケーションに対する認識の 考察</p> <p>紀潔 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)</p>

## 14:40~15:10 【口頭発表Ⅱ】

発表題目	
<p>⑦留学生を支援する留学生スタッフの学び —役割と参加の観点から—</p> <p>七海美和子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了生)</p>	<p>⑧介護施設における連携・協働関係の構築を考える —日本語教育の観点から—</p> <p>渡辺和音 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)</p>

## 15:20~15:50 【口頭発表Ⅲ】

発表題目	
<p>⑨ケースメソッド授業において内省は必要か —経営学ケースメソッド実践者へのインタビューをもとに—</p> <p>アドゥアヨム・アハゴ 希佳子 (宝塚大学)</p>	<p>⑩日本語教育は難民申請者に対する日本語支援にどのように関われるか —神奈川県鎌倉市の難民申請者支援施設を事例として—</p> <p>大年萌音 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)</p>

## 16:00~16:10 【総会】